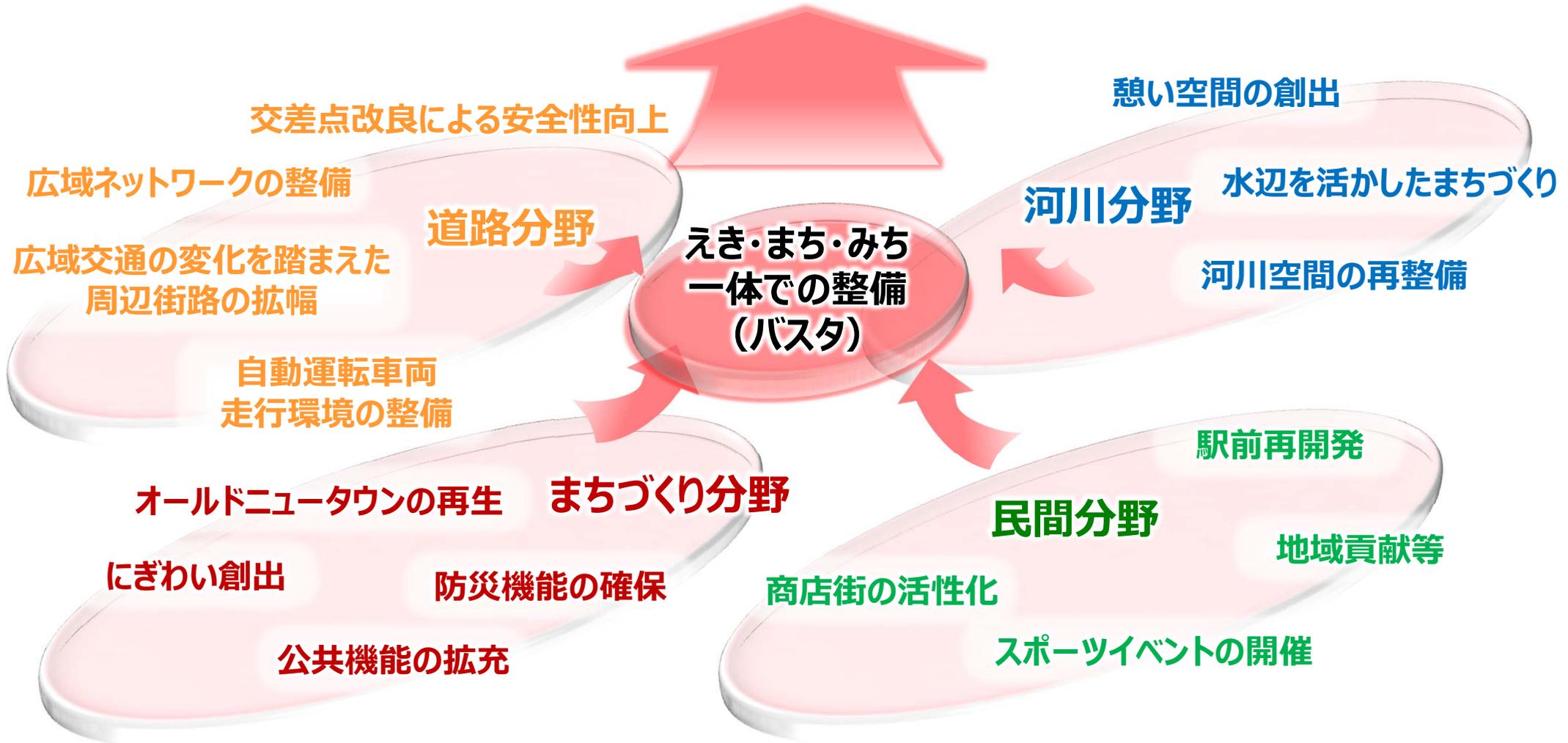


4. えき・まち・みち空間の整備の進め方

4-1. 施策総動員による課題解決

○交通結節点の整備を契機として、道路・河川・まちづくり・民間の各分野が連携、総力を挙げて、追浜駅周辺まちづくりに臨みます。

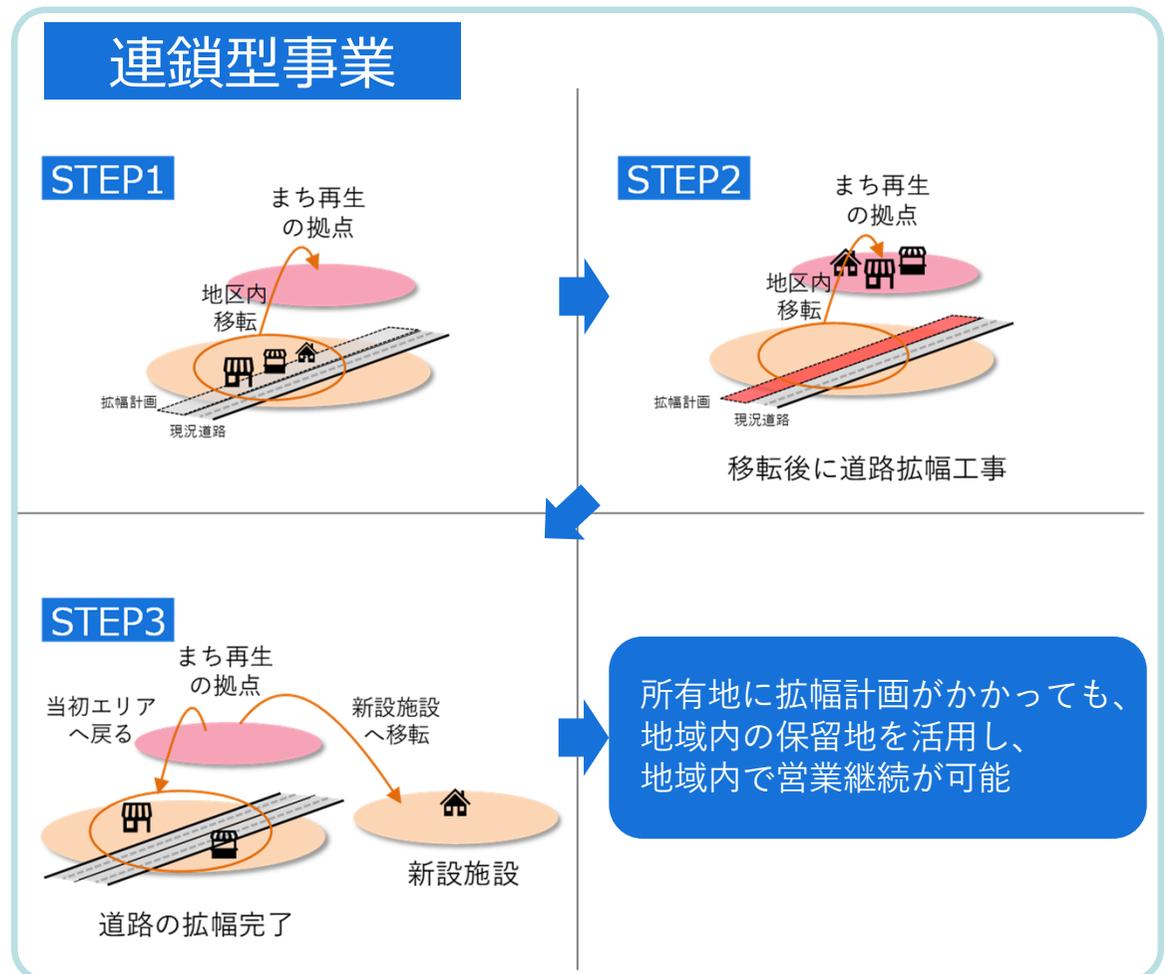
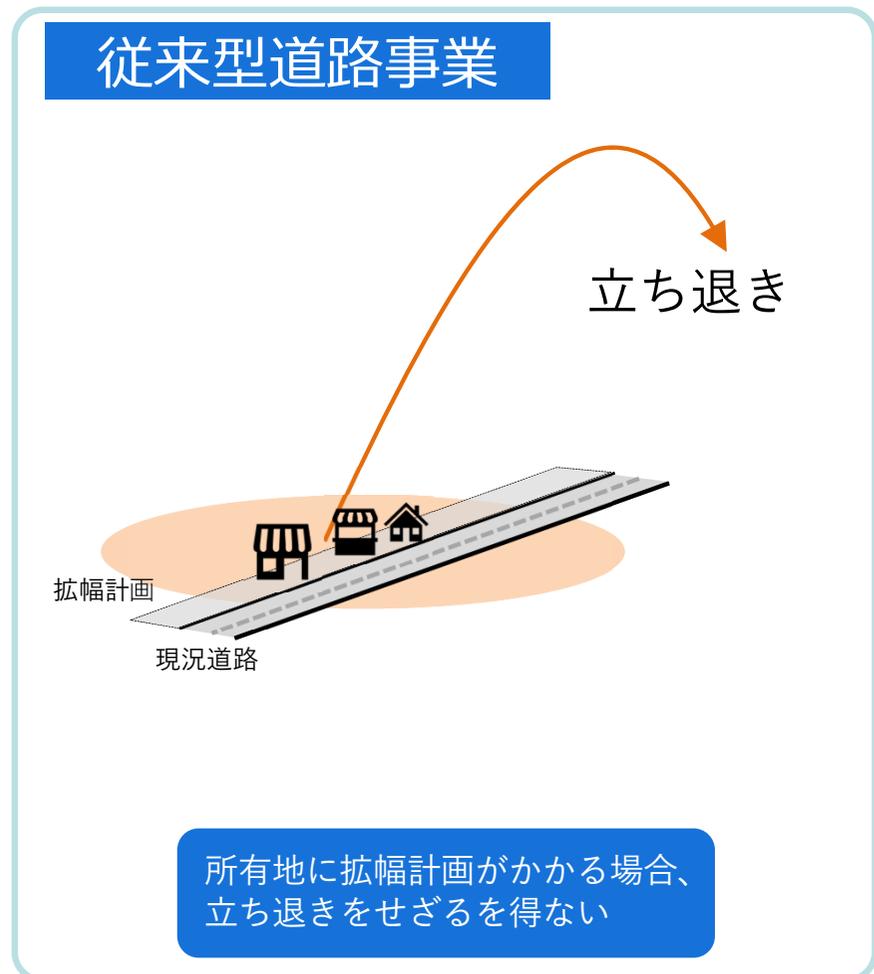
施策を総動員して課題を解決しながら、未来を見据えた駅前拠点を創出



4. えき・まち・みち空間の整備の進め方

4-2. 連鎖的な事業推進

- 今後、追浜駅周辺にて施策を総動員しながら事業を進めるにあたり、途中段階では一部の店舗の方々に、移転等をお願いする可能性があります。
- その場合でも、「追浜駅周辺での営業継続の意思がある方」が残れるように、連鎖的な事業推進を検討します。



4. えき・まち・みち空間の整備の進め方

4-3. 地域主体による事業の推進

- 行政や市民まちづくりの枠組みを超え、地域に関わる様々なプレーヤーが連携することにより、地域内での営業を継続できる連鎖型の事業推進など、新たな方式の事業スキームを検討します。
- 交通ターミナル整備や災害時マネジメントなど、道路管理者としての役割を明確にしつつ、整備後の運営管理などの将来的なエリアマネジメントを見据えた連携体制を構築します。

